【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成18年11月24日(2006.11.24)

【公表番号】特表2003-501114(P2003-501114A)
【公表日】平成15年1月14日(2003.1.14)
【出願番号】特願2000-573399(P2000-573399)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ　1/36　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/531　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/569　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　35/76　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/395　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　14/075　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　16/08　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　7/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　1/36　５４０
Ａ６１Ｍ　1/36　５４５
Ｇ０１Ｎ　33/531　Ｂ
Ｇ０１Ｎ　33/569　Ｇ
Ａ６１Ｋ　37/02
Ａ６１Ｋ　35/76
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｄ
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｕ
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　43/00　１２１
Ｃ０７Ｋ　14/075
Ｃ０７Ｋ　16/08
Ｃ１２Ｎ　7/00

【手続補正書】
【提出日】平成18年10月3日(2006.10.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　個体においてウイルス免疫原性治療剤に対して予め存在する体液性免疫を減少させる方法であって、該ウイルス免疫原性治療剤に対する抗ウイルス抗体に選択的に結合する免疫吸着剤で体外的に該個体の血液を処理する工程；および該処理の間に形成された血液から抗体－免疫吸着剤複合体を除去する工程であって、該血液は該個体にもどすことが意図される、工程
を包含する、方法。

【請求項２】　前記ウイルス免疫原性治療剤がアデノウイルスである請求項１に記載の方法。
【請求項３】　前記免疫吸着剤が有機分子である請求項１に記載の方法。
【請求項４】　前記免疫吸着剤がポリペプチドである請求項１に記載の方法。
【請求項５】　前記ポリペプチドがウイルス表面タンパク質である請求項４に記載の方法。
【請求項６】　前記表面タンパク質がキャプシドタンパク質である請求項５に記載の方法。
【請求項７】　前記表面タンパク質が繊維タンパク質である請求項５に記載の方法。
【請求項８】　前記表面タンパク質がペントンタンパク質である請求項５に記載の方法。
【請求項９】　前記免疫吸着剤が抗ウイルス抗体に特異的な抗体である請求項１に記載の方法。
【請求項１０】　前記抗体が抗イディオタイプ抗体である請求項９に記載の方法。
【請求項１１】　前記免疫吸着剤が、ヘキソンタンパク質、繊維タンパク質、ペントンタンパク質、及びそれらのいずれかの組合せからなる群から選択されるアデノウイルス表面タンパク質である請求項２に記載の方法。
【請求項１２】　前記免疫吸着剤が、アデノウイルスヘキソンタンパク質、繊維タンパク質、及びペントンタンパク質の混合物を含む請求項１１に記載の方法。
【請求項１３】　前記繊維タンパク質が３量体である請求項１１に記載の方法。
【請求項１４】　処理後の抗ウイルス抗体のタイターが約１：１０以上である請求項２に記載の方法。
【請求項１５】　前記個体の処理前の抗ウイルス抗体のタイターが少なくとも約１：１０である請求項２に記載の方法。
【請求項１６】　前記個体の処理前の抗ウイルス抗体のタイターが少なくとも約１：２０である請求項２に記載の方法。
【請求項１７】　処理前の抗アデノウイルス抗体の全量が約１２μｇ／mlより多い請求項２に記載の方法。
【請求項１８】　好適なパッケージング内に、除去すべき抗体に特異的に結合する少くとも１の免疫吸着剤を含む請求項１に記載の方法に用いるためのキット。
【請求項１９】　前記免疫吸着剤がアデノウイルスペントンタンパク質である請求項１８に記載のキット。
【請求項２０】　請求項１に記載の方法とあわせて抗ウイルス抗体の検出に用いるためのキットであって、好適なパッケージング内に除去すべき抗体に特異的に結合する少くとも１の免疫吸着剤を含むキット。
【請求項２１】　前記免疫吸着剤がアデノウイルスペントンタンパク質である請求項２０に記載のキット。
【請求項２２】　個体の血液からウイルス免疫原性剤に特異的に結合する抗体を選択的に除去するための組成物であって、マトリックスにコンジュゲートした抗体に特異的に結合する免疫吸着剤を含む組成物。
【請求項２３】　前記免疫吸着剤が、ヘキソンタンパク質、繊維タンパク質、ペントンタンパク質、及びそれらのいずれかの組合せからなる群から選択される請求項２２に記載の組成物。